

● 序 大橋博樹 3

第1章 皮膚診療の基本知識

1) 皮膚の構造と機能 ～こどもの皮膚の特徴～ 神崎美玲 10

2) スキンケア

① 清潔 山口美由紀 13

② 乾燥 山口美由紀 15

③ 紫外線 山口美由紀 18

3) 発疹の種類と記載のしかた 神崎美玲 21

4) 知っておきたい皮膚科の検査

① 皮膚アレルギー検査 神崎美玲 26

② 真菌鏡検 田口詩路麻 29

③ Tzanck テスト 田口詩路麻 35

④ ダーモスコピー 山崎由里子, 外川八英 39

5) 皮膚疾患の治療 ～外用療法～

① 基剤と剤形による選び方 田口詩路麻 43

② ステロイド外用薬 田口詩路麻 47

③ 免疫抑制薬 出口順啓 53

④ 抗菌薬・痤瘡治療薬 出口順啓 55

⑤ 抗真菌薬 出口順啓 58

⑥ 外用方法の実際 出口順啓 60

⑦ 外用剤の混合について 神崎美玲 63

6) 皮膚疾患の治療 ～全身療法～

① こどもへの薬剤投与方法と用量 小林桂子 66

② ステロイド 小林桂子 69

目次

③抗ヒスタミン薬	小林桂子	72
④抗菌薬	小林桂子	75
⑤抗ウイルス薬	小林桂子	78
7) 皮膚疾患の治療 ～理学療法～		
①光線療法	小林桂子	81
②凍結療法	神崎美玲	84
③レーザー治療	神崎美玲	86
8) 感染症と学校保健	神崎美玲	89

第2章 湿疹・アトピー・蕁麻疹

①接触皮膚炎	木村聡子	94
②おむつ皮膚炎	吉岡奈月	98
③異汗性湿疹	木村聡子	103
④汗疹	木村聡子	107
⑤皮脂欠乏症・乾燥性湿疹	木村聡子	110
⑥乳児脂漏性湿疹	吉岡奈月	115
⑦アトピー性皮膚炎の診断	小島隆浩, 宮本雄策	119
⑧アトピー性皮膚炎の検査	町野亜古	123
⑨アトピー性皮膚炎 ～治療～	小島隆浩	125
⑩蕁麻疹・血管性浮腫 (クインケ浮腫)	犬尾千聡	131

第3章 発熱を伴う発疹

1) 付随所見による診療・鑑別のポイント

①発熱＋紅斑・丘疹	高木 暢	138
②発熱＋粘膜疹	堀越 健	142

保健所へ報告 …保健所へ報告が必要な疾患の場合

すぐに皮膚科へ …早急に皮膚科医への紹介が必要な場合

すぐに小児科へ …早急に小児科医への紹介が必要な場合

2) 発熱・発疹をきたす主な疾患

① 突発性発疹	太田 浩	147
② 麻疹・風疹 <small>保健所へ報告</small>	太田 浩	150
③ 川崎病 <small>すぐに小児科へ</small>	太田 浩	153
④ Gibert ばら色秕糠疹	小宮山 学	156
⑤ 水痘	高木真知子	160
⑥ カポジ水痘様発疹症	安藤典子	163
⑦ 手足口病	堀越 健	165
⑧ ヘルパンギーナ	堀越 健	168
⑨ 伝染性紅斑	宮地悠輔	171
⑩ Gianotti-Crosti 症候群	神崎美玲	174
⑪ 溶連菌感染症	堀越 健	177
⑫ 蜂窩織炎	宮地悠輔	180

第4章 よくみる皮膚の感染症

① 毛包炎・せつ・よう	榊原永晴	184
② 多発性汗腺膿瘍	榊原永晴	187
③ 伝染性膿痂疹(とびひ)	田口詩路麻	189
④ 伝染性軟属腫(みずいぼ)	田口詩路麻	193
⑤ 尋常性疣贅	高木真知子	197
⑥ 単純ヘルペス	安藤典子	200
⑦ 帯状疱疹	高木真知子	203
⑧ 白癬	安藤典子	206
⑨ カンジダ症	安藤典子	210

第5章 母斑・血管腫など

1) 母斑

① 色素性母斑	レパヴァーアンドレ	214
② 青色母斑・太田母斑・異所性蒙古斑	レパヴァーアンドレ	219
③ 扁平母斑	レパヴァーアンドレ	222
④ 脂腺母斑・表皮母斑	レパヴァーアンドレ	225

目次

2) 血管腫・血管奇形

- ① 乳児血管腫 (いちご状血管腫) すぐに皮膚科へ 神崎美玲 229
- ② 毛細血管奇形 (単純性血管腫) すぐに皮膚科へ 神崎美玲 233

3) 神経皮膚症候群

- ① 神経線維腫症 山本寿子, 宮本雄策 236
- ② 結節性硬化症 山本寿子, 宮本雄策 241
- ③ その他の神経皮膚症候群 山本寿子, 宮本雄策 245

第6章 その他

- ① 虫刺症 小宮山 学 250
- ② アタマジラミ症 高木真知子 253
- ③ 胼胝・鶏眼 小宮山 学 256
- ④ 凍瘡 (しもやけ) 森 洋平 259
- ⑤ 亀頭包皮炎 森 洋平 262
- ⑥ 紫斑を示す疾患 (IgA 血管炎など) 森 洋平 265
- ⑦ 尋常性痤瘡 町野亜古 268

- 索引 272